



2012. 11月発行 No.70

東北森林管理局 藤里森林センター

〒018-3201

秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添 24-3

Tel 0185-79-1003 Fax 0185-79-1005

eメールアドレス t-fujisato@rinya.maff.go.jp

抜けるような青空 紅葉に彩られた溪谷

10月20日(土)、第3回森林ふれあい推進事業「白神山地での紅葉狩り」を開催しました。

当日は抜けるような青空の下、秋田市や能代市はもとより関東方面からもお客さんがみえられ、総勢19名の皆様にご参加いただきました。

太良峡風景林では、針広混交林の特徴である天然秋田杉の濃い緑色と、晩秋を向かえ赤や黄色に色づいたカエデやブナ、ミズナラなどとのコントラストが目を楽しませてくれました。また、それらの色合いが位牌岩、おう穴など珍しい景観をよりいっそう美しく見せてくれました。太良峡を散策後、紅葉の名所である釣瓶落峠へと移動しました。

峠から見る桧原沢溪谷の紅葉もきれいに色づき始めていました。赤や黄色と共に、尾根筋に見えるヒバやキタゴヨウの濃い緑が落差300mの深い溪谷を飾り、すばらしい景観となっていました。

午後からは、岳岱自然観察教育林を訪れ、センター職員からブナの二次林や、岩を抱えるように育つ木の特徴についての説明を聞きながらブナ林の中を散策し、三蓋山の眺めを堪能しつつ参加者の皆さんは思いおもいに深まりゆく秋の風情を楽しんでいました。なかでも、わき水を飲んでいただいたときには、「ペットボトルを持ってくれば良かった」「水割りに使いたい」等の声が聞かれ、

皆さんのうれしそうな笑顔が印象に残りました。

最後に峨礪の滝に立ち寄り、解散しました。

全体を通して好天に恵まれ、今年度最後のイベントを無事に終えることが出来ました。

参加者の皆さんからは、「天気にも恵まれ、紅葉もキレイで山の説明もいろいろしてもらい、バスの中でも楽しめました」「秋田に来たのも、山を歩くこともはじめてでしたが、参加できて良かった」等のうれしい感想を頂き、職員一同励みとし、より一層内容の充実を図っていきたいと思います。



釣瓶落峠で桧原沢の絶景を觀賞

色鮮やかな紅葉の中で森林教室

10月30日（火）、大館市立山瀬小学校の5年生21名の児童が、岳岱自然観察教育林を訪れ森林教室を行いました。

当日は、岳岱のブナやイタヤカエデの葉も鮮やかな黄色に染まり、秋の紅葉の中での森林教室となりました。

児童の皆さんは、3班に分かれ森林センター職員によるブナの二次林の成り立ち、針葉樹と広葉樹の違い、紅葉になる仕組み、秋の森に生えるキノコの役割、シナノキやキハダ等の特性や用途の



紅葉真っ盛りの岳岱

説明に真剣に耳を傾け、メモを取りながら散策路を進んでいきました。葉っぱを使ったビンゴシートでは、似ている葉っぱを見つけると「この葉っぱじゃない?」「ちょっと違うよ」などと友達同士と語りあいながら立ち止まっては、センター職員に何度も質問していました。

また、ミヤマカタバミの葉で古くなった10円玉を磨いてピカピカにさせて見せると、「すごいきれいになった」と驚いて歓声を上げたり、シナノキの空洞に入ったり、天然のブナ林に育まれた湧き水を飲んだりして、白神の豊かな自然を満喫していました

昼食後、峨瀧大滝に移動し、当日は水量も多く壮観な滝を見ながら、水辺を走り回ったり、手や足を水中に入れたりして元気いっぱいでした。閉会式は峨瀧大滝で行い、代表の児童数名から感想発表やお礼の言葉をいただき、無事楽しい森林教室を終了することができました。

後日、児童の皆さん一人ひとりから感想文が届けられました。その中に、「ビンゴゲームがとてもおもしろく、いろんな葉っぱの特徴が分かりました。木の実や天然水を食べたり飲んだりしてとても楽しかったです」「たくさんのことを教えてもらって自然が好きになったし、森を大切にしようと思いました」

「白神山地へ行くのを楽しみに待ってました。自然観察で森の中を観察することはめったにないことだったのですごく楽しかったです。また機会があったら白神山地に行きたいです」などの感想を頂きました。今後も充実した森林教室になるよう創意工夫しながら取り組んでいきます。



シナノキの空洞で

お知らせ

11月12日より県道西目屋二ツ井線の冬期通行止め

11月12日より岳岱自然観察教育林冬期間閉鎖

11月13日より小岳・二ツ森・水沢巡視管理棟冬期間閉鎖

来年も多くの皆さんにご利用いただけるよう、施設管理を行っていきます。